

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書（中間評価書）

平成 29 年 6 月 23 日

計画の名称	富加町における循環のみちの実現		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）	交付対象	富加町
計画の目標			

下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）

- ① 下水道による都市浸水対策の達成率を37% (H21末) から40% (H27) に増加させる。
- ② 下水道処理人口普及率を59% (H21末) から60% (H27) に増加させる。
- ③ 処理場における長寿命化計画策定率を0% (H23) から100% (H27) に増加させる。
- ④ マンホールポンプにおける長寿命化計画策定率を0% (H23) から100% (H27) に増加させる。
- ⑤ 幹線管渠 (HP) における長寿命化計画のための調査実施率を0% (H23) から100% (H27) に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)	
① 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積 (ha) / 浸水対策を実施すべき面積 (ha)	37%	40%	40%	
② 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口 (人) / 総人口 (人)	59%	59%	60%	
③ 処理場における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの処理場数 (箇所) / 長寿命化計画を策定すべき処理場数 (箇所)	0%	100%	100%	
④ マンホールポンプにおける長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みのマンホールポンプ数 (箇所) / 長寿命化計画を策定すべきマンホールポンプ数 (箇所)	0%	100%	100%	
⑤ 幹線管渠 (HP) における長寿命化計画のための調査実施率 長寿命化計画実施済延長 (m) / 長寿命化計画対象管渠延長 (m)	0%	0%	100%	

全体事業費	合計 (A + B + C)	5 6 百万円 3 4 百万円	A	5 0 百万円 3 4 百万円	B	C	6 百万円 0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	10.7% 0.0%
-------	-------------------	--------------------	---	--------------------	---	---	----------------	-------------------------------	---------------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期

事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
富加町建設課において評価を実施	平成 2 9 年 6 月
	公表の方法
	富加町HPで公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 下水道事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
A1-1-1	下水道	一般	富加町	直接	富加町	雨水	新築	川浦川排水区 (浸水対策)	B500mm A=7.0ha B500mm A=7.0ha	富加町						7 22	
A1-1-3	下水道	一般	富加町	直接	富加町	汚水	新築	R418沿道枝線 (未普及解消)	φ150 L=3.0km φ150 L=3.0km	富加町						30 2	
A1-1-4	下水道	一般	富加町	直接	富加町	水処理・汚泥処理	改築	浄化センター長寿命化計画策定	計画・調査・設計 計画・調査・設計	富加町						4 12	長寿命化
A1-1-6	下水道	一般	富加町	直接	富加町	汚水	改築	管渠長寿命化計画策定	計画・調査・設計 計画・調査・設計	富加町						1 0	長寿命化
A1-1-7	下水道	一般	富加町	直接	富加町		全種	効率的な事業実施のための検討等	調査検討資料作成 一式 調査検討資料作成 一式	富加町						8 0	
												合計	50 36				

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
C1-1-1	下水道	一般	富加町	直接	富加町	新築	R418沿道枝線（未普及解消）	φ150 L=1.0km φ150 L=1.0km	富加町						6 0	
合計											6 0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
C1-1-1	期間事業である幹線と接続した枝線整備を一体的に行うことにより、普及率の向上が図れる。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

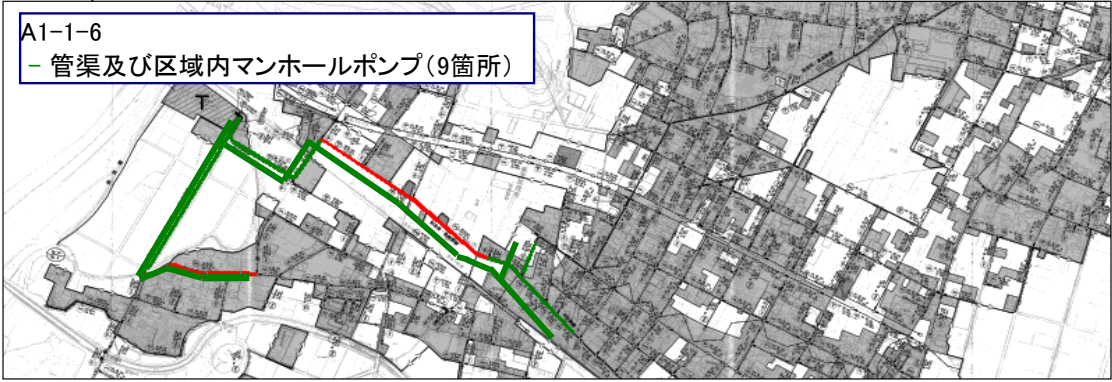
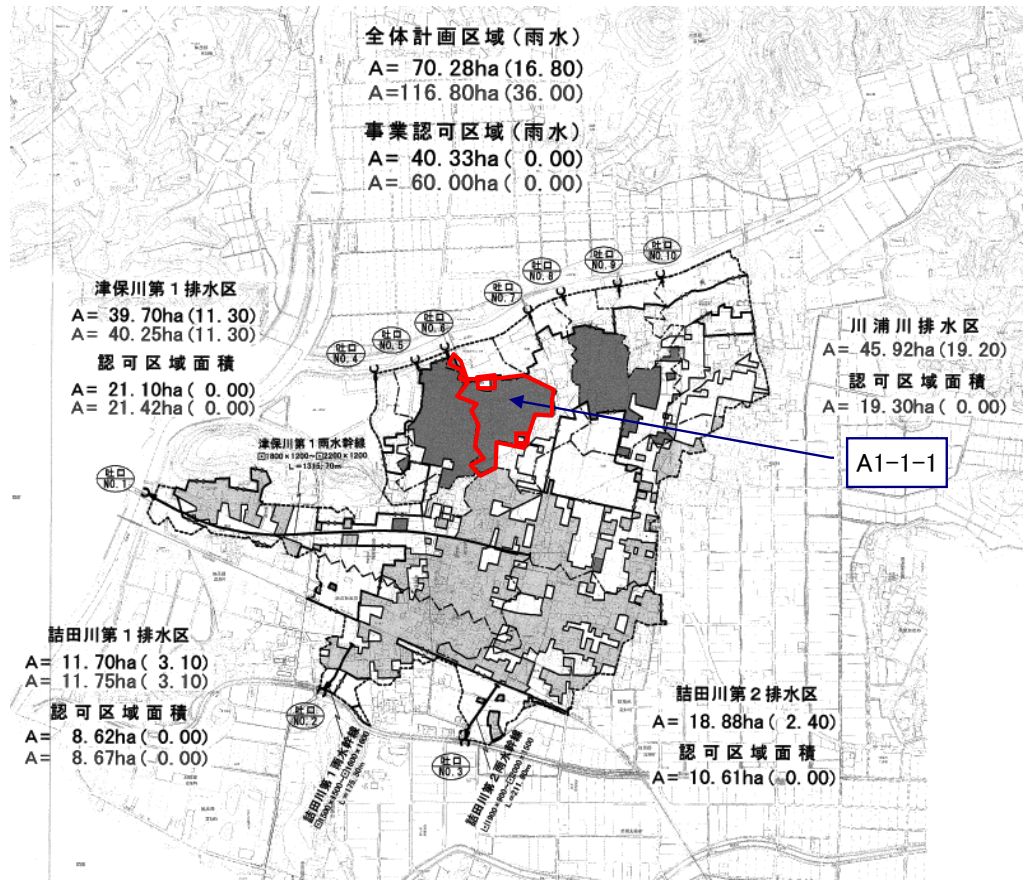
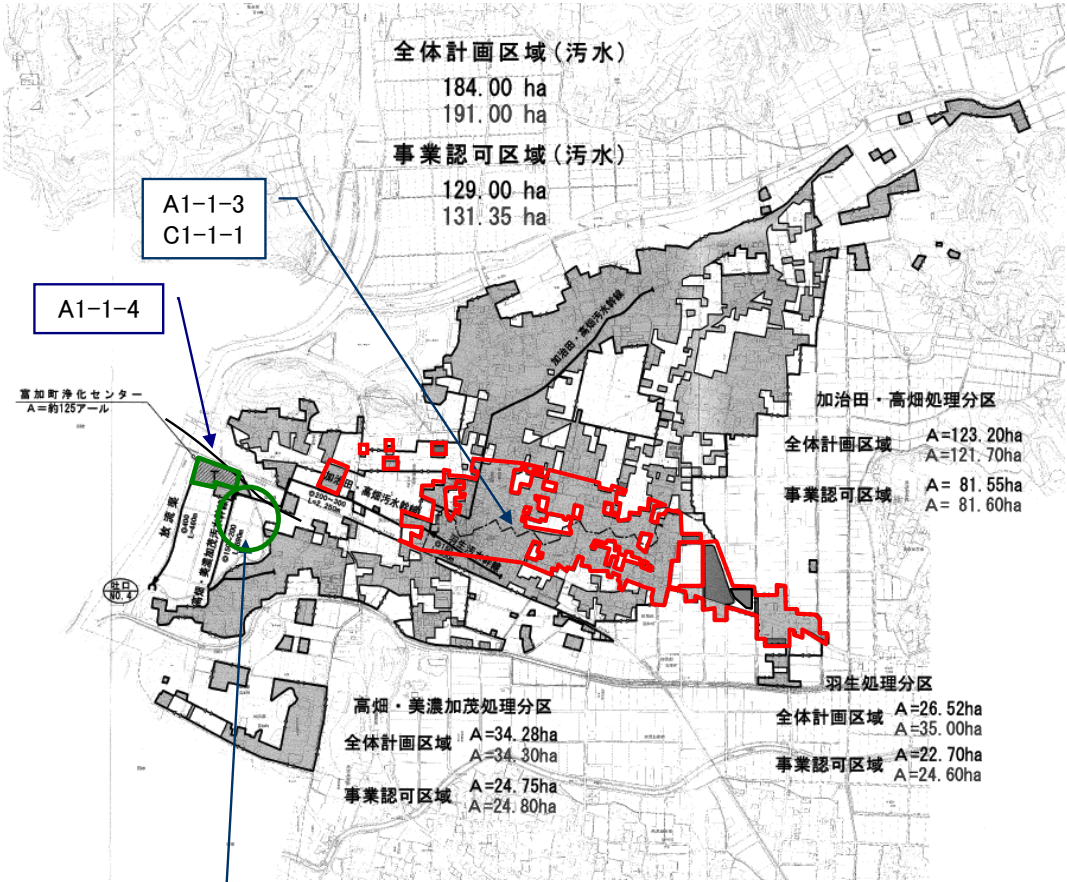
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況					
II 定量的指標の達成状況	指標①（下水道による都市浸水対策達成率）	最終目標値	40%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	40%		
	指標②（下水道処理人口普及率）	最終目標値	60%	目標値と実績値に差が出た要因	当初計画では、R418号沿の美濃加茂市エリアについて、宅地化が急速に進むと想定していたが、その進捗は想定より緩やかであったため、管渠整備事業は未実施となっている。（最終実績60%については、下水道処理人口普及率（H27末）の数値を記入）
		最終実績値	60%		
	指標③（処理場における長寿命化計画策定率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	100%		
	指標④（マンホールポンプにおける長寿命化計画策定率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	当初は、処理場長寿命化計画と並行して管渠の長寿命化計画を策定する計画であったが、処理場の長寿命化計画策定に関する調査を実施したところ、対策を要する設備が想定以上に多いことが判明した。このため処理場施設の対策を優先事項に取り込む方針とし、事業平準化等を検討した結果、管渠の長寿命化計画策定を先送りしたことによる。
		最終実績値	0%		
	指標⑤（幹線管渠（HP）における長寿命化計画のための調査実施率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	当初は、処理場長寿命化計画と並行して管渠の長寿命化計画を策定する計画であったが、処理場の長寿命化計画策定に関する調査を実施したところ、対策を要する設備が想定以上に多いことが判明した。このため事業の平準化等を検討した結果、管渠の長寿命化計画を策定は先送りしたことによる。
		最終実績値	0%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）					

3. 特記事項（今後の方針等）

- ・ 管渠の長寿命化対策については、ストックマネジメントに移行することとストックマネジメント計画に基づき計画的・効率的な事業の実施に取り組む。
- ・ 国道418号沿い美濃加茂市エリアについては、今後の宅地化の動向を確認しつつ、管渠整備事業について検討・計画実施していく。

計画の名称	富加町における循環のみちの実現		
計画の期間	平成24年度 ~ 平成28年度 (5年間)	交付対象	富加町



凡例 (汚水)

◁	全体計画区域
■	事業認可区域
→	既設幹線
T	処理場

凡例 (雨水)

◁	全体計画区域
■	事業認可区域
→	既設幹線
→C	吐口
---	流入区域

整備予定箇所の色分け

—	新設
—	改築